

補章 自由記述結果にみるキャリア教育

1. 問題と目的

「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書」（2004年1月公表）において、「キャリア教育」とは「児童生徒一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てる教育」であり、端的には「児童生徒一人一人の勤労観、職業観を育てる教育」とされている。

また、キャリア教育が求められる背景として、①少子高齢社会の到来、産業・経済の構造的変化や雇用の多様化・流動化、②就職・就業をめぐる環境の変化、③若者の勤労観、職業観や社会人・職業人としての基礎的・基本的な資質をめぐる課題、④精神的・社会的自立が遅れ、人間関係をうまく築くことができない、自分で意思決定ができない、自己肯定感を持ってない、将来に希望を持つことができない、進路を選ぼうとしないなど、子どもたちの生活・意識の変容、⑤高学歴社会におけるモラトリアム傾向が強くなり、進学も就職もしなかったり、進路意識や目的意識が希薄なまま「とりあえず」進学したりする若者の増加、が挙げられている。そして、キャリア教育の基本的な考え方として、「学校の教育活動全体を通じて、児童生徒の発達段階に応じた小学校段階からの組織的・系統的なキャリア教育の推進が必要」とされている。（http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/05062401/001.htm；文部科学省 HP より引用）

教育現場でもキャリア教育の重要性は十分に認識されているが、実態としては「就業体験」に代表される「勤労観・職業観」の形成に偏り、「生き方・あり方」指導としての「キャリア教育」は優れた実践の積み重ねはあるものの全体としてはいまだに模索の段階を出ていない。その背景にはさまざまな社会的格差の拡大や固定化によって「先が見えない」「不安に満ちた」社会認識がある。

本章では、こうした状況を踏まえて、自由記述から「キャリア教育」は広く社会にどのように受け取られているのかを探る。あわせて、「社会的不安」にも注目して、社会の重要な機能である「教育」（ここではとくに「キャリア教育」）に何が求められているのかも考察する。なお、自由記述は回答者が任意に記述するものであるから、回答者の「問題意識」や「願い」「相応の対応の要求」がより強く出ると考えられる。具体的には、「多くの記述があるものは問題意識が高い」「（意味のある長さで）長いものほど問題意識が高い」「より強い表現・激しい表現・厳しい表現が見られるものほど問題意識が高い」と考えられる。本章の考察においては個人や団体の特定につながらないように、人権や基本的諸権利に十分配慮した上で、できるだけ回答者の記述をそのまま使うようにした。

なお、自由記述欄に記入した人は936人（男性462人、女性474人）で、全体1372人（男性702人、女性670人）に占める自由記述回答者の割合は68.2%（男性65.8%、女性70.7%）であった。男性に比べて女性の回答の割合が高い。

2. 自由記述の結果

自由記述を求めた質問を次に示す。

問 33 最後に、「子どもの将来」や「キャリア教育」についてのあなたのお考えをお聞かせください。どんなことでもかまいませんのでご自由にお書きください。

回答を「キーワード」の出現数が多いものに注目して、それに基づいて分類して整理した。主なキーワードは「キャリア教育」「将来」「不安」「格差」「教育」「フリーター／ニート」「いじめ」である。また、キーワードは入っていないが記述の主旨が同じと解釈できるものについては、同じカテゴリーで扱っている。

3. 「キャリア教育」について

(1) キャリア教育をすべきである

「キャリア教育」の重要性を認め、推進すべきであるという記述は以下のようなものである。

- ・子供には自分のやりたい（子供の望む）職業についてほしい。キャリア教育は大いに賛成。特に職場体験学習。（男性・30代後半・自営業・大学院修了・収入13*¹・中部）
- ・これからの子どもには国を愛する心と日本人の誇りを大切にする事を教育する事により、国の発展の為にキャリア教育を経て、経済発展に貢献できる人を育てて欲しい。（男性・50代前半・正社員・短大／高専卒業・収入8・中部）
- ・大人が可能性を引き出してあげなくてはならない。そのためのキャリア教育であれば、ドンンドン行くべきである。（男性・30代前半・正社員・高校卒業・収入5・関西）
- ・ゆとり教育よりもキャリア教育に力を入れるべきだと思う。（男性・40代後半・正社員・大学院修了・収入9・四国）
- ・キャリア教育はとても良いと思います。一箇所だけでなく、いろいろな、職種を経験できると良いと思います。是非、続けて欲しいです。（女性・50代後半・非正規雇用・専門学校／各種学校卒業・収入11・関東）
- ・今後、契約社員、派遣社員が、増々多くなり、正社員として働くのが難しくなると思います。どこの会社でも、責任ある仕事をし、簡単に転職を望むことのないような、キャリア教育が、必要だと希望しています。（女性・50代前半・正社員・大学卒業・収入10・関東）

*1 以下、「収入」については、1：100万円未満、2：100～200万円未満、3：200～300万円未満、4：300～400万円未満、5：400～500万円未満、6：500～600万円未満、7：600～700万円未満、8：700～800万円未満、9：800～900万円未満、10：900～1000万円未満、11：1000～1100万円未満、12：1100～1200万円未満、13：1200万円以上。

- ・「職場体験」はとてもよいことだと思う。私の地域では、中3の生徒がくる。もし余裕があるなら、中1～高3まで、6種の仕事を体験できるともっと選択の幅が広がるのでは。(男性・30代前半・正社員・大学卒業・収入8・中部)
- ・子どもが希望する職業又は大人になってほしいので、そのためのキャリア教育なら必要だと思います。(女性・30代後半・正社員・短大／高専卒業・収入7・東北)
- ・子供には自分の適性に合った仕事についてもらいたいです。その為にキャリア教育はとても有意義なものだと思います。中学生の職場体験などとても良い事だと思います。(女性・30代後半・非正規雇用・高校卒業・収入7・関東)
- ・子どもが将来、自分の希望する道を見つけ、進めるようにはば広く、キャリア教育をつませたい。(女性・40代後半・家事従事・大学卒業・収入8・関東)
- ・就職する際選択肢を増やしてあげたい。キャリア教育により適切な進路選択もしくは、進路変更も可能になるのではないかと。(女性・40代前半・非正規雇用・高校卒業・収入1・関東)
- ・キャリア教育を十分しないと「今の若人はどうなるのか」と考えてしまう。しっかり教育をしなくてはいけない。(男性・40代後半・正社員・短大／高専卒業・収入6・関東)
- ・最近の若い人は自分の得する事しかしない。自分がうまく生きている事がステイタスになっている気がする。(よく考えると私も同じ?)皆で協力し、物事を達成するというキャリア教育をした方が良くと思う。(男性・40代前半・正社員・大学卒業・収入9・関東)
- ・大学で学ぶ時に専門的資格も取得し社会で活躍できる様になって欲しい。フリーターやニートが多くなったのは社会全体のゆがみの様なものがあるが、国民が「キャリア教育」にもっと力を入れ、社会と学校がお互い風通しを良くして行く様なシステムにしないと日本の将来はないのではないかと思います。(男性・50代後半・正社員・短大／高専卒業・収入6・東北)
- ・就職活動の頃にならないと自分のやりたい仕事が見えてこない時代に育ったので、キャリア教育は良い事だと思う。しかし、将来の日本の姿が全く見えないので、子どもも将来について考えにくいと思う。少子化・高齢化社会で日本がどうなるのか、政府はきちんとビジョンを示す必要がある。(男性・30代前半・正社員・大学卒業・収入6・中部)
- ・自分の子供時代の反省も踏まえて、やはり早い時期から、世の中に現在ある職業についての知識をもってもらいたいと考えます。その為にも、地域を巻きこんだキャリア教育の考えには賛成です。(男性・30代後半・正社員・大学卒業・収入13・中部)
- ・役に立つ仕事を意識して勤める事が出来れば、ほぼ成功とみなしたい。子どもの将来やキャリア教育等も大切な事と理解しているが、あまり小さいうちからでは無理とされます。「待つゆとり」教える側も教えられる側も、個性に合わせて、ゆとりを持って情報提供出来ると良いのでは。(女性・50代前半・家事従事・短大／高専卒業・収入4・関東)

「キャリア教育」だけでなく、より詳しい用語「キャリアパス」を使って説明する意見も

ある。

- ・小さいうちからさまざまなキャリアパスについて教えることが重要だと思う。(男性・40代後半・正社員・大学卒業・収入8・関東)

「キャリア教育」は重要ではあるが、学校に対する不安・不信があったり、学校だけで出来るものではないとする記述も目立つ。とくに義務教育段階でのキャリア教育の困難さや問題を指摘する記述が多い。

- ・キャリア教育の重要性はわかっている。しかし、今、公立学校(小・中)には、いわゆる「〇〇教育」が教育課程の他に入ってきている。これでは、現場では対応できず、結局、教育活動全てが中途半端になってしまう。(男性・40代前半・正社員・大学卒業・収入8・東北)
- ・キャリア教育は必要と思うがやはり学校ではどうかと思う。先生の問題もある。やはり基になるものをまず家庭、学校でしっかり教えることが大切だと思う。(女性・50代前半・家事従事・短大／高専卒業・収入9・関東)
- ・義務教育については基礎学力を充分身につけさせる事、高等教育でキャリア教育を徹底すれば良いと思う。(男性・50代後半・無職・大学卒業・収入8・東北)
- ・家庭内での子供との関係を重要視することが大切である。学校にキャリア教育を押し付けるようなことがあってはならないと考える。家庭を中心として連携していくことが大切と考える。(男性・40代後半・正社員・大学卒業・収入9・関東)
- ・小さい頃から沢山の習い事や勉強をさせている父兄を周りでもよくみます。ただ、勉強をする為にゲームを与え、何かのたびソフトを(カセット)を買い与えて…何ももらえないとやらない、ごほうびをもらえるとやるっていうお子さんが多いです。あと家庭で怒られない子は学校の先生に怒られるとすごく落ち込んだり親に報告したりで、両親が担任に子供を怒るなど文句を言いに来た。キャリア教育も大切だし、自分の子が素晴らしい仕事についてくれれば親としてもとても嬉しい事だが、キャリア教育の前に各家庭で親がキチンと常識を教えておかないといけないと思う。(女性・30代前半・家事従事・高校卒業・収入5・関東)
- ・キャリア教育は将来の選択肢を決定する上で有効だと思う。ただ、協調性や学ぶ姿勢等、家庭での教育方針、考え方を基本とした上で受け入れられるべき。(女性・30代前半・非正規雇用・大学卒業・収入8・関東)
- ・子供は親の後姿を見て育つので家庭、親、がしっかりしないとよい教育とはならない。その上でのキャリア教育であってなんでも学校や先生にまかせるのはまちがっている。基礎は家庭における人格形成が重要。その上で社会が育てる。(女性・50代後半・非正規雇用・短大／高専卒業・収入13・関東)
- ・キャリア教育はもちろん必要だと思うが、子供の将来は、子供自身の問題だと思うので、それまでにちゃんと物事を考えられる子供にしていきたいと思っています。(女性・50代後半・家

事従事・中学校卒業・収入 8・関東)

- ・子供の将来を考える前に親の態度が問題だと思う。キャリア教育は必要だが、その前にふつうの人間、ふつうの子供の教育ができてないとキャリアにはなれないのでは？ (女性・50代後半・家事従事・高校卒業・収入 4・中部)
- ・現在ゆとり教育とか言われていますが、太陽が東から登って来る事さえ知らない子供が3割いたと聞きまして驚きました。進学等の勉強が重視され基本的教育が学校、家庭で疎かになっている気がします。体で覚えるキャリア教育も欠かせない事だと思います。(女性・50代後半・家事従事・高校卒業・収入 13・関東)
- ・子供の事を、よく見る。どんな事を考えているか話し合う。その上でのキャリア教育ではないかと考える。(女性・30代後半・非正規雇用・短大／高専卒業・収入 3・関東)
- ・会社内では、必要な人材を育成するため、社内イントラで教育するシステムが開発されているが、国、県、市町村で支援するキャリア教育もあって欲しい。(男性・50代後半・正社員・高校卒業・収入 8・関東)
- ・キャリア教育ができる、施設がもっと多くあればいいと思う。(男性・50代後半・正社員・高校卒業・収入 4・中部)
- ・個性を伸ばすためのキャリア教育であれば良いが、個性が失われる教育でない事を願います。(女性・30代前半・正社員・高校卒業・収入 8・関東)
- ・将来の進路に関しては本人の自主性にまかせたいがそれまでに様々な選択肢が広がるようなキャリア教育の場があればいいと思う。(男性・30代前半・正社員・大学卒業・収入 7・関西)
- ・子どもや孫が幸福な人生を歩んで欲しいと思うのは当然ですが現代においては考えられないような恐ろしい事件が事故等があります。キャリア教育も無論大切な事と思いますがそれ以前に社会のルール。自分中心主義の考え方でなく人の事も思いやる道徳教育の必要性を感じます。(女性・50代後半・家事従事・短大／高専卒業・収入 10・中部)
- ・子どもの将来、キャリア教育、大切な事だと思います。が、基本的な事を教える親が、今は、自己中心的等々、問題が多い様にも思われます。親が学べる、身近な場所があるといいのですが。(女性・40代前半・非正規雇用・専門学校／各種学校卒業・収入 5・北海道)

(2) キャリア教育に疑問

「キャリア」＝職業というとらえ方をしている人がほとんどである。その中で「キャリア教育よりももっと重要なこと」があるだろうという疑問を投げかけている意見が多く見られる。

《キャリア教育に疑問》

- ・キャリア教育、一応やってみました。…という感じがします。今は、中学生で1度しか経験していませんが、高校生…と年齢があがれば自分の道を考えるのではないかと思います。自分のやりたい職業をできれば最高ですが…。(女性・40代前半・非正規雇用・専門学校／各種学校卒業・収入5・関東)

本来、「キャリア教育」は「就業体験」と同義ではない。中学校では「職業体験」を実施している学校も多い。就業体験の実施には受け入れる地域の事業所の理解と協力は不可欠であるが、現場レベルでは問題点を指摘する声も見られる。

《「キャリア教育」が就業体験になっていることに疑問》

- ・私の職場にも「キャリア教育」として中学生が来ますが、何の知識もない子供達が5日程度いても邪魔なだけです。子供だから、という理由で、何の意味もないような端末操作を少しずつ試みているだけで、本当にこれで勉強になっているのだろうか、と疑問に思います。「何かをすればいい、させればいい」ではなく中身の濃い物を与えてあげて欲しいと思います。(女性・40代前半・非正規雇用・専門学校／各種学校卒業・収入6・中部)
- ・職場でインターンシップの大学生を受け入れて担当しているが一度受け入れると当然の様に次度もお願いされる。昨今はコンプライアンスプログラムや業務監査が厳しくなり職員は本来業務の外に監査業務に忙殺されている。今後は大企業しか受入れ体制が出来なるのではないかと(とても学生にはつきあっていられないと思うのが本音)。学校側も一般常識や社会的しつけを教えるからキャリア教育をするべきであると思う。(男性・50代前半・正社員・大学卒業・収入10・北海道)

《キャリア教育より他の教育内容が重要》

- ・「キャリア教育」と言う程、おおげさなものではなく、日常、子供には、達成感を味わう事や、家庭の中で、社会の中で、自分は人の役に立っている、と感じる機会をできるだけ多く持つようにさせる事が、将来、子供が、ニートやひきこもりにならないようにする上で重要な事ではないかと思っている。(女性・40代後半・家事従事・大学卒業・収入7・四国)
- ・子どもの将来、キャリア教育も大事だが、基礎学力、常識など今の教育で不足している事が多過ぎる。(男性・30代後半・正社員・高校卒業・収入6・関東)
- ・キャリア教育といいながら、体力、学力の低下がしんばいだ。(男性・30代前半・正社員・高校卒業・収入5・中部)
- ・子供の将来は、他人まかせにするのではなくまず親子間での意見のそつうをうながす事が大事だと…。キャリア教育なんてものよりも、まず基本的な学力や孝える力を身に付けさせる様な方向を重視してもらいたいです。(男性・30代前半・自営業・専門学校／各種学校卒業・収入3・関東)
- ・キャリア教育にこだわるのかえって変な社会になるのではないのでしょうか。教育、ギム教育は特に基本を大切にしてほしい。やさしい子供、楽しい子供時代を送らせることが、将来の伸びることにつながると思っています。(女性・50代前半・家事従事・短大／高専卒業・収入6・

九州)

- ・キャリア教育が注目されているようですが、それよりもまずは人間性や大人になった時に内面的にも成熟した人格を持てるよう教育していくことの方が見落とされがちなことだと思います。(男性・30代後半・正社員・大学卒業・収入7・中部)
- ・「キャリア教育」にはあまり興味ありません。人間性を重視してますので生活や生きていく上で大切な事を教えていきたいです。(女性・30代前半・自営業・高校卒業・収入3・東北)
- ・いたれりつくせりの教育産業主導のせいで、子供の生きる力、学力が低下している。また、高いお金がかかる塾に行かなければ、受からないような難問奇問(単なる選抜問題)ではなく、受験勉強することによっても生きる力・学力が伸びるような受験問題作成のくふうをすべき。卒業証書が空手形にならないように、特に中学でおちこぼれを出さないことは大切。人間というものについて学ぶことなくして、キャリア教育はありえない。(女性・50代前半・家事従事・大学卒業・収入9・関東)
- ・「キャリア教育」をすすめる事自体は悪いとは思いませんが、それを行なう子供=人間としての教育がなされてないと、外見ばかり飾って、中身のない人間になってしまうこわさを感じます。本当の「キャリア教育」につながらないと思います。(女性・40代後半・家事従事・短大/高専卒業・収入10・関西)
- ・「キャリア教育」を重視するより、もっと道徳的なことの人間形成を重視すべきではないか。(男性・30代前半・正社員・大学卒業・収入9・九州)
- ・男女の性差に関係なく、男も家事をし、女も手に職をつけ、助け合う家族を子供には作って欲しい。そういう家庭がいくつか集まって、地域活動が始めて出来る様に思う。キャリア教育も良いとは思いますが、なかなか本人の適性と勉強の方が一致せず、四苦八苦している親の1人です。(女性・40代後半・家事従事・短大/高専卒業・収入9・関西)
- ・まずは、家族や学校での基本マナーや道徳があってから子供の将来やキャリア教育があると思います。(女性・30代後半・家事従事・専門学校/各種学校卒業・収入6・関東)
- ・キャリア教育も大切だとは思いますが(基本の)家庭での基本的生活習慣がきちんと確立されていないと無理なのは…と思う。ゆとり教育の見直しや、「キャリア教育」も子ども達が振りまわされて、実験台のような気がしてならないのですが…。(女性・30代後半・家事従事・短大/高専卒業・収入7・四国)
- ・子供には家庭でしっかりと基本的な生活習慣を修得させるよう徹底させ、学校では学習面をもっと重視した教育を推進させて欲しいと思います。塾などに頼るのは好ましくないと思うので、格差が生じるのは仕方ないことですが、これも好ましくない現象なので皆が平等に働け、生活できる社会になるとよいと思います。(女性・50代前半・家事従事・高校卒業・収入5・関東)
- ・まず家庭第1であるが、社会において収入財産の格差をなくし安定平和であれば自ずと将来が

- みえてくると思う。学校は学力向上に努め、“順番をつけない”なんておかしい。現実をしつかりみつめて教育するべきだと思う。(女性・50代後半・非正規雇用・短大／高専卒業・収入8・関東)
- ・最近のニュース等を見ていると、人の痛みを知らない子が多すぎる。キャリア教育も良いが根本的な人としての教育を考えるべきだと思う。(男性・30代後半・正社員・高校卒業・収入5・九州)
 - ・キャリア教育の前に、人を思いやる事や自分を大切にすること等、教えなければならない事が沢山あると思う。子供を国の宝として、大人全てで育てるような社会になれば、キャリア教育なんて必要無いと思う。(女性・30代後半・家事従事・短大／高専卒業・収入6・九州)
 - ・キャリア教育は、早くて中学校、遅くて高校だと思います。それより、他者を思いやる心や逆境に有っても頑張る心が大切だと思います。キャリア教育の思想は良いと考えますが、小学校は違うと思います。小学校こそ人間教育が必要で、親が参加すべきですが、現在では難しいと思いますから、行政で行うしかないと思います。極論から極論へ行かざるを得ないと思いますが、子供や日本の将来を思うなら昭和20年代に戻るべきだと思います。団塊の世代の為に今があるから、今変えるべきだと思います。(男性・30代後半・自営業・中学校卒業・収入5・九州)
 - ・今後の日本の国民性が心配です。キャリア教育よりも先に子供達が学ぶ事は、沢山あると思います。「仕事=キャリア」という事であれば、職についてからでもおそくはないと思います。基本的な人間性や基礎学力など、より重要な問題を、優先するべきです。(男性・30代前半・正社員・大学卒業・収入5・関東)
 - ・キャリア教育が良いか悪いかは、先になってみないとわからない事。その子供の育ち方などでかわると思う。親としてできる事は、話をよく聞いて道を作ってあげる事、子供を信頼する事だと思う。(男性・40代前半・正社員・大学卒業・収入11・関東)
 - ・キャリア教育より、我慢する事や努力する事や夢を持つと言うような心の教育が必要では。(男性・40代前半・正社員・高校卒業・収入6・関東)
 - ・基礎教育に重点を置き、子供が自分で体験したり、希めば「キャリア教育」を受けられる環境(男性・50代後半・正社員・大学卒業・収入13・関東)
 - ・ものごとを創造して、使っていく流れを自らの意志と行動で作れる若者を育成する。そのために問題意識をもち、解決していこうという気力をもった元気な若者を育てる。問題解決を通して社会と結びつく原点を今の教育は忘れていないだろうか。相手や、周囲の人を思いやることのできる人材育成がキャリア教育以前にあると思う。(男性・50代後半・正社員・大学卒業・収入9・関東)
 - ・子どもたちにキャリア教育を行う前に他者への配慮や思いやり、道徳心、公共心などをもたせる教育を行うべきと考える。道路上での歩行喫煙、ポイ捨て、など大人(キャリア)がしているのは嘆かわしい。(男性・50代前半・非正規雇用・大学卒業・収入4・関東)

- ・キャリア教育の質が向上しなければ意味の無い事。(男性・50代前半・正社員・高校卒業・収入9・関東)
- ・子供には将来、基礎的なしつけ、生活習慣、人を思いやる心、責任感といった、あたり前といわれるものをきちんと身につけた大人になってほしい。その上で社会で一人前になり、家族を持ち成功してほしい。キャリアは、大企業で人の役に立てる仕事ができるよう、大学のレベルにあった学力を身につける道を歩ませたい。(男性・30代前半・正社員・大学卒業・収入7・関東)
- ・インターネット文化になることで、人と人とのつながりがなくなっていくような気がします。これはキャリア教育にも同じことかなと考えます。(男性・30代後半・正社員・大学卒業・収入8・関東)

《キャリア教育より教育以外の他のことが重要》

- ・キャリア教育より親の教育費の負担をへらすことだ。(男性・50代前半・正社員・大学卒業・収入11・関東)
- ・「キャリア教育」が特に必要だとは思わないが、広く職業全般に知識を持つのは良い事だと思う。「キャリア教育」の趣旨がよく理解できないが「就業が困難だから」というのであれば間違っている。現状の雇用の不安定は所謂「経営者達の安易なリストラと「派遣」労働者の大量雇用が原因である。こちらをどうにかするのが先決であるような気がする。(男性・50代後半・自営業・大学卒業・収入2・東北)
- ・大人のモラルが低下し、常識が通じない今、どうやってまともに子どもが育つのか心配になる。想像力を豊かに持つ人間の社会を足元から見直すべきだ。キャリア教育はその後でよい。(女性・40代前半・非正規雇用・短大／高専卒業・収入7・東北)
- ・今の世の中では子どもを育てるのや将来について不安材料がたくさんあります。キャリア教育よりも少子化や年金政策などの打開策を考えてもらいたいです。(女性・40代前半・非正規雇用・高校卒業・収入5・関東)
- ・国の将来=子どもの将来と思います。今の国の状態を改善しないかぎりいくらキャリア教育を子供に行ってもその力を発揮する場所がないのでは…。(女性・30代後半・非正規雇用・専門学校／各種学校卒業・収入8・中国)

(3)キャリア教育は不要

明確に「キャリア教育は不要」という意見もある。

- ・キャリア教育は特に必要ない。(男性・40代前半・正社員・大学卒業・収入8・関東)
- ・子供には普通の人並みに…と言ってはいます。しかし、自分の望んでいる事が、親や、世間に受け入れられれば…と思っています。キャリア教育は望んでいないし、理解も出来ない。(女

性・40代前半・正社員・高校卒業・収入3・九州)

- ・必要ないのでは？ますます格差が増大、金にならないものは切り捨てていくように思う。現在よりも悪くなる。(女性・50代後半・家事従事・高校卒業・収入3・四国)
- ・正直なところ「キャリア教育」なんかやらなくても子どもは普通の大人になれると思う。(男性・50代後半・正社員・大学卒業・収入8・関東)

「学校」でのキャリア教育は不要という意見も見られた。

- ・学校に対しキャリア教育等というものは全く期待していない。学校では広く人間関係を築いてもらいたい。何故現在、キャリア教育等という言葉が出て来たのか その背景を知りたい。(男性・30代後半・正社員・大学卒業・収入8・関西)

(4)「キャリア」(教育)という用語は好きではない

- ・私にとって「キャリア」という響きはあまり好きではありません。子どもには、何事にも好奇心持ったり、興味を持ってもらい、その中から、将来自分の職業となるものを自分自身で見つけ出して欲しいと思っており、親としてそれを手助けしたいと思っています。(男性・30代後半・正社員・短大／高専卒業・収入7・関東)
- ・あまり親が決めずに子供の意志を考えてあげる。キャリア教育は私自身好きになれない為答えられない。(男性・40代前半・自営業・高校卒業・収入7・関東)

(5)「キャリア教育」はよく分からない

「キャリア教育」という語そのものが分からないという記述も見られた。

- ・質問には答へましたが「キャリア教育」については具体的にはよくわかりません。又言葉自体も始めて見ましたし、聞きました。(男性・50代後半・非正規雇用・高校卒業・収入4・東北)
- ・キャリアとか横文字ではなじみがない。(男性・50代前半・正社員・その他学歴・収入無回答・関東)

「キャリア教育」という語は聞いたことがあるが、その意味するところがよく分からないという記述は思いのほか多い。

- ・子ども達が将来どんな仕事があるのか働けるのかが心配である。キャリア教育はよくわからないが頭だけが発達して人のことを思いやれない人間よりも助け合える人を思いやれるような教育を行ってほしい。(男性・40代後半・正社員・高校卒業・収入7・北海道)

- ・キャリア教育を子供が受けたこともないのでイメージが湧きません。又子供達の学生時代を想定しても大学期なのか中学期なのかで大いに回答が異なります。(男性・50代後半・正社員・大学卒業・収入13・関東)
- ・子供たちは、大人が考えている以上に周囲の大人のことをよく見えています。キャリア教育というものを私自身、よく理解できていないのですが、とりあえずまわりの大人たちが子供に見てまねをされても困らない生活をする事も大事だと思います。(女性・40代前半・非正規雇用・高校卒業・収入5・関東)
- ・キャリア教育が理解できない。(男性・40代後半・正社員・高校卒業・収入6・九州)
- ・「キャリア教育」とは何？目的や内容についてよく判らない状態でのアンケートであった。(男性・40代後半・正社員・大学卒業・収入8・中部)
- ・本調査における「キャリア教育」とは何か？注釈がないのが気になる。(男性・40代前半・正社員・大学卒業・収入8・中国)
- ・子供達が心身ともに健康に暮せる社会であって欲しいと思うけれど、今の世の中はいつも何か追い立てられている様な感じで“ゆとり”が無い。勉強は大切だけどキャリア教育とは何んなんでしょうか？ニュースを見ていると子供達の安全を守ってあげたいと思う。(女性・50代後半・家事従事・高校卒業・収入7・関東)
- ・今学校とかでもキャリア教育とか、子供の将来についてとかのアンケートがよくきます。この様な事を数字に出していますが、あまりいいとは思えないので、もっともっと友達をたくさんつくって楽しく過してほしいです。(女性・50代前半・非正規雇用・高校卒業・収入4・東北)

キャリア教育の意味、必要性ともにわからないという意見もあった。

- ・子ども将来と聞かれてもばくぜんとしすぎてまだピンと来ません。ただ今よりも厳しい条件になっているだろうと思うだけです。キャリア教育って本当に必要なんですか？今回の質問事項を見てもやっぱりピンと来ません。つまらない意見で申し訳ありません。(女性・30代前半・家事従事・高校卒業・収入6・関西)

言葉の意味や内容ではなく実態が分からないという意見も見られる。

- ・学校でのキャリア教育がいまひとつよくわかりません。どういう風に時間をとってやっているのでしょうか？授業の中に組み込まれているのか別に時間をとっているのか？現状ではあまり多く時間をかけられるとは思えないのですが・・・。(女性・40代後半・非正規雇用・大学卒業・収入10・関東)

4. 「子どもの将来」について

(1) 子どもの将来が不安

質問項目の通り「子どもの将来」に言及し、「不安である」「希望がもてない」という意見は多い。まず、漠然とした、一般的不安をあげる意見がある。

- ・いろいろな面で子どもの将来に不安があります。(女性・30代前半・正社員・高校卒業・収入4・中部)
- ・自分を含め、子ども、これから生まれてくる子どもの将来が不安で心配でなりません かと行って今何が出来るかもわからず少しでも何か役に立てれば…と思っています。(女性・40代前半・非正規雇用・高校卒業・収入6・九州)
- ・2020年代には国家破産すると噂で聞きます。自然破壊も進んでいる。子供たちの将来がとても不安です。(女性・40代前半・正社員・専門学校／各種学校卒業・収入4・九州)

教育環境に言及して「子どもの将来」の不安を感じているという意見も見られる。

《教育環境》

- ・日本の社会の迷走により、子どもの将来が心配だ。特に、今の政府の教育現場の声を聞こうともしない教育改革が将来を不安にさせる。(男性・30代前半・正社員・大学院修了・収入6・中部)
- ・迷走してる日本の教育が心配です。子供の将来(将来の日本にも)にはっきり言って希望がもてません。特に地方に住んでいる者としては格差が広がりそうで不安しかない毎日です。(男性・30代後半・正社員・大学卒業・収入7・東北)
- ・少子化に伴う、社会構造の変化により、キャリア教育に十分な対応ができず、結果として子どもの将来が不安である。(男性・30代後半・正社員・大学卒業・収入13・中部)
- ・子供の近い将来も遠い将来もばくぜんとした不安はあります。いじめ問題などが地域の小学校でどのように扱われているのかetc、知る場があるといいのですが…。(女性・30代前半・家事従事・高校卒業・収入6・北海道)
- ・まだ子どもが小さいので、これから学校に行くうえで「いじめ」が心配です。(女性・30代前半・家事従事・専門学校／各種学校卒業・収入4・関東)
- ・まだ子供が小さいのでまだ先の事と思いながらも、どのようになるのか不安です。格差が激しくなるような気がします。キャリアとか勉強の事ばかりでも、人間とのふれあいが全体的に少ないような感じなので、人間関係なんかもこの先どうなるのかな?と思う時があります。(女性・30代後半・非正規雇用・高校卒業・収入6・中部)
- ・未就学児を持つ親として、基本的な生活習慣や基礎的な学習など始めているが、周りの人達のコミュニケーションや情報交換などで得る情報の多さに困惑してしまったり、子育ての壁にあたった時に、相談できる機会が少なくとても不安に感じる事が多いです。今とても多感な時期で、与える物で吸収するものがとても大きい時期なので、親として何を選択して与えていく

のか、子供との日々の関わり方などとても責任を感じています。子供の意志を尊重しながら個性の育成など関わってあげたいと思います。(女性・30代前半・家事従事・専門学校／各種学校卒業・収入3・関東)

とくに「学力」に言及して「不安」を訴える意見もある。

《学力》

- ・小学校の教科に関して言うと、昔とかなり違って、絵や写真ばかりで字が少ない。その上、進みが早いという事で、基礎が身に付くか心配です。つまり進学や就職にも支障がでてくる事がとても不安です。(女性・30代前半・家事従事・短大／高専卒業・収入5・関東)
- ・義務教育の間は公立学校で、と思い、我が家の子供たちは特別な幼児教育などを受けさせることもなく公立に通っていますが、上の子が中学に通うようになって、初めて私立と公立の学校ではあまりにも差があるということを知りました。(女性・40代前半・家事従事・大学卒業・収入13・関西)

「経済」の問題から「不安」を感じている人たちもいる。

《経済》

- ・将来ある子供たちのために、大人である我々の財産を平等に削ってまでも今後の事を考えるべきである。少子問題は必ずくることであり、人口減少の為、日本が貧しくなる事を考えると不安である。(男性・50代前半・正社員・大学卒業・収入10・関東)
- ・中国、インドなどに比べ日本の国力が衰退していくと思う。そのため子どもの将来が、不安。(男性・40代前半・正社員・大学卒業・収入10・中部)
- ・子どもは子どもなりに成長していくと思いますが、今現在の生活水準で大学まで出せるのか、不安もあります。学校はどこでも良いので、自分自身に自信のもてる子どもになってもらいたいと思います。仲間も作るのも大切だと思います。(男性・40代前半・正社員・大学卒業・収入4・関東)

(2)日本の社会が不安

まず「社会全体に不安を感じる」人が多い。その主なものを以下に示す。

《社会全体》

- ・日本の将来に非常に不安を抱いている。かの小泉内閣時代に推進された規則緩和、市場原理主義により、行き過ぎた競争社会、弱肉強食社会、貧富格差格大社会となり、まさにアメリカの一つの州と化してしまった感がある。日本人には江戸時代いやそれ以前からの日本人としての慎ましい品格や賢さがあつたはずである。それらを全て否定し、アメリカの言うなりだけの政策をしているこの国の子ども達に明るい将来は無い。(男性・40代前半・正社員・大学卒業・収入9・中部)

- ・日本の将来そのものに不安を感じる。(男性・30代前半・正社員・大学卒業・収入5・東北)
- ・社会に不安を感じる。(男性・40代後半・正社員・専門学校／各種学校卒業・収入5・関東)
- ・日本の国全体のあり様を考えると子供の将来についてはとても不安を覚える。働くことへの意識の変化もあるが受け皿としての社会の認識の変化の中で働くことが生きがいや自分の夢になるような未来像を描きにくくなっている現実を感じる。(女性・50代前半・非正規雇用・短大／高専卒業・収入5・中国)
- ・今の子供達の将来に向けて自分達が思いえがいた様な希望が見えない社会、安定感のない社会への動きに不安を感じています。(女性・50代前半・非正規雇用・高校卒業・収入3・九州)
- ・私達の時代、男女平等、個人尊重の時代そして子供の時代、孫の時代、少しずつ日本人としての軸がずれてきたと思います。今の若い人の考え方、社会性がどうしても理解出来ません。親の責任地域の責任、日本の将来が不安です。おとなしすぎる日本に。(女性・50代後半・非正規雇用・短大／高専卒業・収入6・関西)
- ・親自身も将来の事を不安に思う社会になっている現状。その為子供は、最不安ではないかと思えます。(女性・50代後半・非正規雇用・高校卒業・収入5・関東)
- ・まだ子供が小さいのであまり考えた事はありませんが、子供が大学進学または就職する頃、どのような社会状況になっているのか、漠然とした不安はあります。(女性・30代後半・家事従事・大学卒業・収入5・東北)
- ・少子化の中、小供達が大きくなったとき、社会がどうなってるのか、親としては不安である。(男性・30代前半・正社員・大学卒業・収入4・中部)
- ・少子化が進んでいる世の中…逆に高齢者が急増している現在…。働きたいけど、働く事の出来ない世の中、将来高齢者の医療費や、生活費など、少ない人口の中、どの様に、負担していくのか、不安でなりません。ましてや、私達の子供時代は今以上に深刻な問題になっていると思います。ゆとりある老後をと思うんですが…。教育についても、私世代の頃は、家族や先生、周りの大人が、体あたりで教えてくれたものですが、今では、それが虐待&暴力で訴えられ…それに賛同?!する子供や親。すぐにキレル人達、全てが、心配です。物騒な世の中です。本当に、一人一人が、安心して過せる場が、必要だとつくづく思います。(女性・30代前半・非正規雇用・高校卒業・収入6・中部)
- ・私にはまだ社会人になっている子供はいませんが、今の若者を見ていると、自分の子供があんな年齢になった時、社会はどうなっているのだろうと不安に思います。自分の子供の親達にも(私は高令の方ですので)不安を感じます。本来なら家庭で教育されることがされていないというかできる親がへったというべきか学校でも学力の方ばかりに力がいれられすぎて、人間形成の時間をもっとかけてほしいと思います。(女性・40代後半・家事従事・専門学校／各種学校卒業・収入6・九州)
- ・高齢者の数が増え続け、将来の子供達に色々な面で負担が多くなるのではと不安です。どうし

てこんな世の中になってしまったのだろうと思う。(女性・40代前半・非正規雇用・専門学校／各種学校卒業・収入5・東北)

- ・社会の変化が激しく、親の視点、視野が時代遅れとなり、親として良きアドバイスが上手く出来るか不安です。時代時代の考え方で進むのも良いですが、親の経験が生かせないのも残念です。(男性・30代後半・正社員・大学卒業・収入7・関東)
- ・子どもが結婚して、子どもが産まれる頃は、どんな社会になっているのかと思うととても不安です。決して今より良い状態になっているとは思えないからです。(女性・40代後半・家事従事・短大／高専卒業・収入6・北海道)

社会全体もそうなのだが、「社会的環境」「社会の要素」に言及して不安を感じているとする意見も目立つ。

《社会的環境》

- ・子供が大きくなった時に、核家族化、学校の荒れなどで他人を思いやる心があるか不安。(男性・30代後半・正社員・大学卒業・収入5・関東)
- ・今のままでは子どもの将来がとても不安。他人を思いやる心…をもっていない人間が増えていかなければならないと。この先、自分の子供たちのため住みよい社会になる様に少しでも努力していきたいと思っています。(男性・30代前半・正社員・大学卒業・収入6・中国)
- ・子どもを育てる環境が、あまりにも悪意がありや、思いやりに欠けるものとなっていることが、とても不安です。収入≒学歴となりつつある世の中にも不安です。(女性・30代前半・家事従事・大学院修了・収入5・関西)
- ・今の世の中、「すぐきれる」などのがまんのできない若い子達が多すぎる。この中で私の子供も生きてゆかなければならないと思うと、親としてとても心配、不安です。(女性・30代前半・非正規雇用・短大／高専卒業・収入5・中部)
- ・今の若い人の言葉の使い方は理解し難いものがあります。家庭での躾も大事なのですが、子供向けの番組の粗悪さは腹が立ちます。ニュースではいじめ問題がどうこう言っておきながら子供の見る番組は暴力シーンや汚い言葉を使ったものばかり。ゴールデンタイムの子供が見る時間帯にも「殺す」とか「てめえ」とかご丁寧にテロップを出して強調されている。メディアも真剣にそういうものを自粛して欲しい。職場で大切な事はまず話す力。敬語ぐらい話せる様になって欲しい。(男性・40代後半・正社員・高校卒業・収入9・中部)
- ・テレビ報道が豊富すぎて、便乗犯罪が多いし、子供でも「自殺や犯罪」が頭に浮かぶこと事体が自分の昔とはちがひ、戸惑う。この国に生まれてきたことをもっとほこりに思い、育ててほしい。学校も、ゆとり教育にしたかと思えば元にもどしたり、親も不安になってしまうこともある。(男性・30代前半・正社員・大学卒業・収入8・中部)
- ・社会情勢が不安定な今の時代、大人も子どもも将来が明かるいという期待はない人が多いと思

う。昔の子供のように漠然とでもお金持ちになりたいとか、こんな人になりたいとか対象になる夢を持ってないのはなぜか?あまりに現実が厳しいニュースばかりで普通に過ごすのが無難と考えるしまうのか、マスコミ等も問題があると思うし、学校での、優劣をつけない競争(?)もある意味問題ではないでしょうか。(女性・50代後半・非正規雇用・高校卒業・収入11・北海道)

- ・自殺やいじめ他コミュニケーションや友情のうすっぺらさを感じる。又周りも離婚が簡単に行われ、親とのコミュニケーションも低い。自分達時代との差もすごく感じる。(男性・40代前半・自営業・高校卒業・収入6・九州)
- ・いじめ・自殺・殺人の多い中これからの子供たちはこの現況をどう受け止めているのでしょうか?命の大切さ・人への思いやり教育も大事な事ですがそれはあたりまえの事をきちんと教えていきたいです。(女性・30代後半・非正規雇用・高校卒業・収入4・中部)
- ・子育てのむずかしさ、実感しています。昔みたいに体を動して遊ぶことが少なく、情報社会、ほんとうに怖い世の中になりそうで不安です。ゲームやパソコンの普及も良し悪しですね。会話も少なくテレビなど見てすごすことも多いです。(女性・40代後半・自営業・専門学校／各種学校卒業・収入7・九州)
- ・子ども社会は大人社会を映す鏡だと思う。今、格差問題が言われているが、その結果ストレス社会となり心もすさんできている様に思える。子どもたちの将来を考えるなら、まず大人社会を良くする事が先決であり、地域社会で、子供を見守る体制が必要だと思う。(女性・50代後半・家事従事・短大／高専卒業・収入10・中部)
- ・私にはキャリア教育が効果があるものなのかわかりませんが、働くことは大切なので少しでもちからになっていけばと思います。働くこともそうですが、地球環境を始めすべてにおいて子供の将来は心配です。いつまでも親は生きていられないので子供にはしっかりと自立しまともに生きて生けるように育てなければと思っています。(女性・30代前半・家事従事・専門学校／各種学校卒業・収入6・関東)
- ・休日が多すぎて、これからの子供の将来がとっても心配です。学力の面でも、一般常識の面でもかなり不安になります。(男性・30代後半・自営業・高校卒業・収入7・関西)
- ・今の政治家(屋)では将来が不安です。(女性・40代後半・家事従事・高校卒業・収入4・関西)

とくに「雇用」をめぐる環境に言及している意見も見られる。

《雇用》

- ・子供達の雇用について不安です。(男性・40代前半・正社員・高校卒業・収入5・関西)
- ・子供が、家族、本人が望む職業につき、しっかりした生活ができるようになるのか、不安である。(女性・40代後半・正社員・大学卒業・収入13・九州)

- ・子供が将来普通に職につけるか不安。(女性・30代後半・正社員・高校卒業・収入9・中国)
- ・将来、きちんとした定職に、つけるかどうか不安です。自分の住んでいる地域での就職が、むずかしくなっていくと思います。(女性・40代前半・非正規雇用・高校卒業・収入6・東北)
- ・身近な所での仕事安定性がないので不安です。都会の大手へと就職するため。(男性・50代前半・自営業・大学院修了・収入11・四国)
- ・子どもの就職にかなり不安がある。人を思いやる心の教育がなされていないので、自分さえよければいいと思う社会になってくる。(男性・40代前半・正社員・大学卒業・収入8・九州)

(3)「格差」が問題

まず、漠然とした格差、一般的格差、社会的格差を感じている意見がある。

- ・いろいろな事に格差がありすぎると思います もうすこしのびのびと生活が、できれば良いと思ってます。(女性・40代後半・家事従事・高校卒業・収入11・中部)
- ・大学・短大を卒業しても仕事につけない人が多い。パートとかを使う会社、社会に問題があると思う。このままでは格差の社会、自分だけが良いと思う人たちの社会が出来るのではないかなと思う。(女性・50代前半・正社員・高校卒業・収入11・中部)
- ・これから、いろいろな面でもっと個人の格差が広がっていくと思う。いろんな能力、立場の人や子供が、自分の価値を見出しキャリアを形成していけるよう、専門的な研究も必要だと思う。(女性・40代前半・家事従事・大学卒業・収入10・関東)
- ・格差社会がもっと深刻になるような気がします。これまで人間に手で行われていたことが機械にとって代わられる 何ができるのか、子どもの将来は最終的には子ども自身が決めることではあるが、方向を決める手伝いを親としてやっていけたらと思う 少々まわり道でも自分のやりたいこと好きなことが職業としてやれたら最高だと思う。(女性・40代後半・正社員・大学卒業・収入4・九州)
- ・人間を計るものさしが学歴であったり、収入であったり個人の特性や素性なるものが後まわしにされているように感じる。イコール格差が今後大きくなるばかり・・・では？と心配される。(女性・40代前半・正社員・短大／高専卒業・収入12・九州)
- ・同世代の子供を持つ親同士でも価値感の相違がとでもあり、今後学校教育の時にどのように子供同士と一緒に生活をおくるのが不安です。(女性・30代後半・家事従事・大学卒業・収入12・関西)

「キャリア教育」と「格差」の関係にふれて、「キャリア教育」が「格差」を生んでいるという考えもある。

- ・ゆとり教育やキャリア教育といった所から、子ども達の間で差が付き始めている気がします。今後の日本を考えると全体的な底上げが必要と思われるので、レベルの差が埋まるような教育システムを作って欲しい。(男性・30代前半・正社員・専門学校／各種学校卒業・収入5・関東)

「格差」を「学力の格差」、「学力の問題」と捉える意見が見られる。

《学力格差》

- ・まだ小学生なので、学力もそれほど気にしなくていいが、将来的には、すごく格差がつくと思う。早くから、塾に行く子供も多いので、いずれ勉強を中心の日々になるだろう。(女性・30代後半・家事従事・短大／高専卒業・収入5・九州)
- ・格差社会がますますひどくなるので自分の子供の将来は学力と資格がないと安定した生活はできないのではないかと心配している。(男性・50代前半・正社員・高校卒業・収入8・九州)
- ・学力面で、できる子、できない子の格差がこれからどんどん広がっていく様な気がします。(女性・30代後半・非正規雇用・高校卒業・収入7・九州)

「格差」を「家庭の格差」と捉える意見も見られる。

《家庭の格差》

- ・家庭環境により子供達の考え方、個性、態度等、社会で通用する部分はかなり格差がある様に思える。学力、体力等が秀れていても人間としての中身がなければ何も意味もない。家庭での役割は大きいと感じる。(男性・40代前半・正社員・高校卒業・収入7・中国)
- ・格差社会が拡大していくと思う。自分が生活していく上で最低限必要な事は自分でやっていける様子供達に指導していく事が必要。中でも家庭の役割が大切だと思う。ただ最近では親が親としての資質を持っていない人が増えているそれが一番の問題の様な気がします。(女性・40代後半・家事従事・短大／高専卒業・収入13・中部)

「経済的格差」を問題にする意見も多い。

《経済的格差》

- ・将来格差がさらに広がると考える。子どもの教育にもお金がかかりさらに格差が・・・。(男性・50代前半・正社員・高校卒業・収入11・関西)
- ・格差が広がると、経済的に豊かな家庭の子供だけが満足な教育を受けられその他の子は、自分自身がよほどしっかりした目標を持たない限り、将来が不安になる。(女性・50代後半・無職・短大／高専卒業・収入4・関東)
- ・収入の格差で勝ち組、負け組の幅が広がってしまう。(男性・30代前半・正社員・大学卒業・収入6・関西)

- ・格差が広がり、子供に十分な教育を受けさせることができないこと。少子化により子供同士の係わりが希薄になっていることでのコミュニケーション力の不足。など心配、不安はたくさんあります。(女性・40代前半・非正規雇用・大学卒業・収入7・東北)
- ・親の収入により、子供が受けられる教育に差が出て、その結果、更に格差が広がり、固定することが心配です。お金をかけなくても平等に高い水準の教育を受け、将来のチャンスを作れる仕組みを作ってほしい。(女性・40代前半・非正規雇用・大学卒業・収入4・東北)
- ・ゆとり教育が見直され始め、まるまるゆとり教育の政策の中で育った子ども達は、どうなってしまうのでしょうか？貧富の差がある中で、家庭で補うにも限度はあるのではないのでしょうか？しっかりした学習能力がないまま、キャリア教育に出ても困るのは、本人、会社なのではないのでしょうか？(女性・30代後半・非正規雇用・短大／高専卒業・収入9・関東)
- ・お金のある家庭、ない家庭での子供にかけられる金額による教育の格差が不安である。(女性・50代前半・家事従事・高校卒業・収入9・九州)

(4)「フリーター」・「ニート」の問題

「キャリア教育」や「子どもの将来の不安」の問題を「社会的弱者」としての「フリーター」「ニート（若年無業者）」の問題ととらえる意見も多く見られた。

- ・ニートやフリーターが増加している事に憂慮している。家庭や学校で働くことの意義や尊さをもっと教えるべきである。(男性・50代前半・正社員・大学卒業・収入13・関東)
- ・フリーター、ニート等正規社員になれない人達が増えていく状況は決して良いとは言えません。彼らを取り込まない限り社会格差は更に広がって行くと思います。何人もの犠牲の上になり立ってる社会をなくすシステムが必要かと思います。(男性・50代前半・自営業・大学卒業・収入5・中部)
- ・企業自体が正社員の雇用を少なくパート、アルバイトの割合が高い現在、フリーターが増えるのは止められないと思う。雇用形態を見直してほしい。(女性・40代後半・非正規雇用・専門学校／各種学校卒業・収入3・北海道)
- ・地域のニーズが分かる仕組を作ったり、職場で働く事に限らず若者が活躍できる機会を増やし現在よりも人々が協力し合える社会になっていくと、フリーターや、ニートが減ると思う。(女性・50代前半・非正規雇用・短大／高専卒業・収入2・関東)
- ・日本の人口は減り続けている現在、フリーターやニートは作ってはいけない。再就職の門口の拡大、職業訓練の呼び掛け、基礎学力の充実や補習授業の充実、中小企業の子育て支援、無気力な若者へはボランティア活動の強制参加、など考えて行くべきでは…。(女性・50代前半・非正規雇用・短大／高専卒業・収入無回答・関東)

- ・キャリア教育を通じて増加しているフリーターやニートの減少につながればよいと思います。学生の時から、働くことの大切さを考える機会を設けることで、自分の将来を考え目標が早い時期に定まれば、それに向かって、子どもたちは、努力していくのではないのでしょうか?ただ漠然と学生生活を過ごすのと大きな目標を持って過ごすのでは大きな違いがあるように思います。(女性・30代後半・非正規雇用・大学卒業・収入11・関東)
- ・いじめやひきこもり、ニート等々の情報に驚き、将来が不安になります。もっと楽しく明るく元気な、澁刺とした世の中であってほしいと思います。それには子どもの問題だけでなく、大人の姿勢が大事であると思います。(女性・40代後半・家事従事・大学卒業・収入9・関東)
- ・若者のフリーターやニートが増えているので、自分の子どもが不安です。(女性・30代後半・家事従事・短大/高専卒業・収入8・関東)
- ・現在、若者のフリーターやニートが多く、安定した生活にこだわらない者が多い為、自分の子供たちに対しても将来その様な風調に流されてしまうのではないかと不安である。(女性・40代後半・非正規雇用・高校卒業・収入12・関東)
- ・今、若い子に多いニートを救う、作らない、させないは親の努めであると思う。子供の時代に何かひとつやりとげる楽しみや達成感を体験させてやる。(女性・40代前半・家事従事・高校卒業・収入11・中国)
- ・まだ小学生なので深く考えてませんが、女の子なら手に職をつけ結婚後も働ける子に育てたい。男の子も手に職をつけ大企業までむりでも安定した仕事についてほしい。やはりニートは親としては、イヤですね。(女性・30代後半・非正規雇用・短大/高専卒業・収入6・中国)
- ・自分のしたい仕事につき安定した生活をしてほしい。ニートは気ままでいいのかもしれないが生活保障がない。(女性・50代前半・非正規雇用・高校卒業・収入4・九州)

5.「教育」について

まず、教育以外にも大切なことがあるという意見がある。

- ・家族、地域社会、国家等1つの方向性を持って生活するのは難しくてもしなければならない事。キャリア教育を含め、向上心は大切だし親として考える事は同じかもしれないが、子育ての終わった今教育以外にも大切なことがいっぱいある。しかし、いつの世も親が子に望むことは同じで、おろかなのが親。下降の一途で淋しい世の中になっていくのかも。(女性・50代前半・正社員・短大/高専卒業・収入7・中部)

(1)学校不信、教員不信

おそらくは「学校」における「キャリア教育」を念頭において、「学校」そのもの、あるいは「教育」を行う教員に不信感を表明する意見も見られた。

- ・子どもの将来やキャリア教育だと言う前に、まったく頼りならない学校に不安です。子供が多くの時間を過ごす学校。先生が何の頼りにもならず、他人からの教育に半ばあきらめています。これでは、心の広い子供は育ちませんよ。(男性・30代前半・正社員・高校卒業・収入5・北海道)
- ・上の子が障害児なので、独立させたいがそういう社会的な支援がなく大変悩んでいる。学校はろくなことをしてくれないし、どうしたらいいかも判っていない。子供の将来のことを思うとものすごく不安だし、心配。(女性・30代後半・家事従事・短大／高専卒業・収入4・関西)
- ・現状の小中学校の教師の質が悪すぎると思います。正直、子供の教育等を学校に任せる事は不安です。教師の質を向上させる施策を早急に行ってほしいと思います。(男性・30代前半・正社員・大学卒業・収入7・関西)
- ・子供2人が小学生です。豊かな生活ができる日本にはなりましたが、幸せの実感は減る一方です。安心して子育てできる社会には程遠いです。親は常に子供の送迎に時間を費し、学校がたよりにならないので仕方なく塾に入れ、格差は広がるばかり。将来のことなど考えたくもありません。(女性・40代後半・家事従事・大学卒業・収入13・九州)

「いじめ」を切り口に学校と教員に対する不信を表明する重い意見があった。

《「いじめ」の問題》

- ・長男は中学時代にあったいじめで人生の大切な部分、狂わされたと思っています。授業も満足に受けられず、進学にも故障をきたし、思う様な職にもつげず親としては長男の将来がとても不安です。一時期のいじめがその人の人生(家族も含めて)をも狂わす事を、教育にたずさわる方々はしっかり考えて欲しいです。(女性・50代後半・家事従事・高校卒業・収入3・関東)

(2)ゆとり教育

- ・ゆとり教育は履き違えてしまった様だ、あまりにもユルイ人間を生み出している。(勿論全員ではないが)娘には軸を持ち、誠の瞳で歩んで欲しい。キャリアや資格は無いより有った方が良いが、自分の望む道が見付けられる様、自己形成してもらいたい。(男性・30代前半・正社員・高校卒業・収入6・関東)
- ・子供の数は減っても中学のお受験をする人は増えると言っていますが、ゆとり教育に不安を覚え、子供にはバランス良く人間形成してほしいです。(女性・30代前半・家事従事・専門学校／各種学校卒業・収入8・関東)
- ・ゆとり教育に不安をかんじる。もう少し以前の様な学校教育、家庭教育が必要だと思う。(女性・50代後半・正社員・高校卒業・収入13・中部)
- ・時間を無駄にしてほしくない。今よりも厳しい環境になるんじゃないかと不安を感じる。学校

でやりきれないものを子供たちが学校以外で学力なんかを身につけていかななくてはいけない
今の教育時間には問題がある。(女性・30代前半・非正規雇用・専門学校／各種学校卒業・収入2・中国)

- ・ゆとり教育は失敗だと思います。やはり子どもの将来を考えると、もっと小さい頃からキャリア教育は必要だと思います。今のままでは、ニートで良いと思う若者がもっと増えていく様な気がします。(女性・40代前半・非正規雇用・短大／高専卒業・収入7・中部)
- ・“ゆとり教育”といいながら、土・日を休ませている今の学校生活がおかしい。学校のしゅみを昔のように戻してほしい。教師ももっと権力のある存在になってほしい。そこから変えていかないと子供の将来は不安である。(女性・40代前半・家事従事・転職経験有・高校卒業・収入4・関東)
- ・政府の「ゆとり教育」が今後、進路変更されて行く予定であるがゆとり教育の失策によって今後さらに格差拡大がひろがって行くものと考え。ゆとり教育にどっぷりとつかって育った若者に対して将来の不安を感じる。(男性・50代前半・正社員・高校卒業・収入8・九州)
- ・本当に将来の子どもたちがどのようになっていくのか、ゆとり教育などといっているが実は影で競走ができて格差社会になっていくのではないかなど心配です。(女性・30代前半・非正規雇用・短大／高専卒業・収入6・関東)
- ・受験戦争をなくし、本気で学べる人は学び働きたい人が働ける社会になってほしい。受験勉強のつめこみをやめて、社会にでてからのキャリア教育を重視してほしい。(女性・50代前半・家事従事・短大／高専卒業・収入3・関西)

6. 自由記述結果の考察と提言

今回の調査における自由記述の結果を考察するとともに、若干の提言を交えてこの章のまとめとしたい。

(1) キャリア

まず、自由記述全体を通して感じられることは、「キャリア」や「キャリア教育」の言葉だけが先行・一人歩きしていて、その意味がよく理解されていないということである。

研究・教育に携わる人たちは「キャリア」について以下のように理解しているはずである。

キャリアは、「長く「生涯にわたる人生コースの中で、個人によって演じられる役割(sequence)と組合せ(combination)」(Super、D.E.の定義)と定義され、時間(time)、役割(role)、関与(involvement)から概念構成されてきた。20世紀後半の社会の変化の中でキャリア概念は内容的に拡がり、当初の「職業や働くこと」を中心にした「キャリア」(いわば狭義のキャリア)から「個人が社会で生きる“生き方そのもの”」(広義のキャリア)と考えら

れるようになった。キャリアの概念は「職業」の視点から「人生あるいは個人的な生き方」に視点が拡大され、より包括的になってきているのである。現在ではキャリア (career) は「ワークキャリア」(=仕事そのものや職業生活における変化をとらえる概念。たとえば「ある人間が生涯を通じて従事する仕事の全体」(ホイット: Hoyt, K.B.)、「一人の人が生涯にわたって踏み行き形成する職業経歴の全体」(藤本喜八))と「ライフキャリア」(=仕事や職業生活だけでなく、家庭生活、余暇生活、地域生活などの領域を含み、その人の生活全般をとらえる概念。たとえば「個人の生活の役割、環境、できごとの統合を通じての生涯にわたる自己発達」(ジスバースら: Gysbers, N.C. et al.)、「生涯の過程において、個人によって演じられる人生役割 (life role) の結合と連鎖」(Super, D.E.))から構成され、「ライフキャリア」はワークキャリアを含む広い意味でのキャリア概念である。

ところが、こうした流れは今回の調査の回答者にはほとんど理解されていない。今回の調査の対象者はランダム・サンプリングに近い形で抽出された集団であるから、社会的にも「キャリア」は正しく理解されていないと考えられる。自由記述に回答するということは、「キャリア」や「キャリア教育」に関心を持つことの表れと見ることができる。回答者は、少なくとも記述からは「キャリア」とは「職業や働くこと」とのみ理解している。学校で学ぶことも家庭での生活も「キャリア」、正確には「ライフキャリア」=「個人の生き方そのもの」であるという肝心なところが伝わっていない。きれい事を並べたり、わからないと言っているのではなく、子どもたちだけでなく、親世代・祖父母世代を含めた社会人となったオトナにも「生きることそのものがキャリアである」という認識を持てるように、また「今やっていることが“キャリアの視点から”はすべて意味を持つ」ということが理解されるように、背景も含めて「キャリアの意味」を伝える必要がある。

(2) キャリア教育

「キャリア教育」とは「望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育」(中央教育審議会答申、1999年12月)であり、「児童生徒一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てる教育」(『キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書』、2004年1月)とされている。

そして、『キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書』は、「キャリア教育の視点から従来の教育のあり方を見直し各学校での教育課程の改善を促す」ことを基本方針として、キャリア教育の基本方向とキャリア教育推進のための方策を示している(文部科学省ホームページ: <http://www.mext.go.jp/>より当該資料の部分引用)。

キャリア教育の基本方向は次に示す4つである。

- ①一人一人のキャリア発達への支援
- ②「働くこと」への関心・意欲の高揚と学習意欲の向上
- ③職業人としての資質・能力を高める指導の充実
- ④自立意識の涵養と豊かな人間性の育成

また、キャリア教育推進のための方策としては次の5つがあげられている。

- ①「能力・態度」の育成を軸とした学習プログラムの開発
- ②教育課程への位置付けとその工夫
- ③体験活動等の活用
- ④社会や経済の仕組みについての現実的理解の促進等
- ⑤多様で幅広い他者との人間関係の構築

言わんとすることは間違っていないが、これは読み方によっては「児童生徒一人一人の勤労観、職業観を育てる教育」が「キャリア教育」であり、それは「学校で行われる」と解釈されてもおかしくはない。「“キャリア”とは職業や働くことである」という古いキャリア観（狭義のキャリア観）に基づいていると解釈されてもおかしくない。学校で行われるのが「キャリア教育」であると解釈されてもおかしくはない。学会関係者、教育関係者、行政でさえこのような解釈をすることもあるのだから、今回の調査の回答者がそうした考えに立つことは何ら不思議なことではない。要は「キャリア」の意味も内容も「今ここという社会」を反映して伝わっていないのである。いわばカラダは現在にあるのに、アタマは過去にあるという「ズレ」が生じているのである。

「キャリア」の意味が伝わっていないのだから、当然「キャリア教育」も理解されているとは言い難い。その意義に関してはなおさらである。ほとんどの回答者は「キャリア」を狭い意味でとらえているので、「キャリア教育」とは「職業や働くこと」を教えることだと理解している。典型的なとらえ方は「就業体験」イコール「キャリア教育」である。義務教育機関を中心に「就業体験」が、高等教育機関を中心にインターンシップが行われ、一定の成果を上げているのは事実である。しかし、今回の回答から、少なくとも社会人（今、学校で学んでいる親世代、祖父母世代の社会人・社会人経験者）の多くには「職業」や「働くこと」は「自分を生きる人生」の手段であって目的ではないという重要な部分が全く伝わっていないことがうかがえる。

「学力をつける」、「思いやりを持つ」、「基本的なマナーを身につける」といったことは、社会の中で他者と共に生きるために不可欠なことであって、決して「職業」や「働くこと」と無関係ではない。そうした能力やスキルを身につけるように指導した上で、その意義を教えることが「キャリア教育」であることをきちんと伝える必要がある。日常生活において当たり前に行っている行動の意味に気づかせて、それは現在の自分、将来の自分につながること

で無駄なことは何もない（もちろん犯罪や他者の人権を侵害することは許されないという規範の上に立ってのことであるが）ことを教えるのが「キャリア教育」であることは、もっと積極的に社会に伝えるべきことである。

そうしてはじめて、「学力をつけること」「他者と仲良くすること」「ルールを守って生活すること」が「キャリア教育」であること、道徳教育も総合的な学習も「キャリア教育」であることが理解されるのである。そして「キャリア教育」の場は決して「学校」だけではないことも理解されるのである。「キャリア教育」は文部科学省が言うところの「生き方・在り方」教育そのものであり、社会の中で生きる個人が「生きる意味を理解するための」教育なのである。

(3)子どもの将来

①不安

現在の社会状況を反映してか、子どもの将来を楽観する記述は皆無である。不安に言及するのは明らかに女性が多い。これは子育てが未だに女性を中心に行われていることの反映でもあろう。

「不安」としてあげられているのは、一般的な不安と教育環境、学力、経済の不安である。また、社会的不安としては社会全体、社会的環境、雇用の不安があげられている。

②格差

経済学の研究者から格差論争が始まった観があり、様々な格差が指摘されている。一方には格差そのものを否定したり、格差を容認する意見もある。

今回の調査の自由記述からは、実感としての格差がいたるところに表れていることが読み取れる。格差の内容として、一般的な感覚としての格差、学力格差、家庭の格差、経済的格差に分類して整理したが、その背景には社会・経済・文化的階層の存在とその拡大・固定化がうかがえる。とくに産業の集積のない地方に住む、相対的に低い家計収入レベルの人たちが意識しないうちに、社会構造の変化に対応できないうちに、格差の下の方に位置づけられている現実が見える。

③フリーター・ニート（若年無業者）

非正規有期雇用に従事するフリーター、また働いていない若年無業者（ニート）は学校教育から社会への移行が円滑にできなかったり、移行は果たしたものの適応できなかった人たちである。その意味ではキャリア形成における弱者ともいえる。今回の調査の自由記述では収入が高い層（家計収入9以上）と低い層（家計収入4以下）ではフリーター、無業者を生み出す社会を問題にしている傾向がみられる。これに対して収入中間層（家計収入5～8）では、「自分の子ども」の将来を考えたときに無業は困るという意見が多い。中間層にとってよ

り切実な問題と捉えられていることが分かる。

(4)教育

教育そのものにまで言及した記述は数としてはあまり多くないが、学校不信、教員不信を内容とするものが目立った。「キャリア教育」の場としての学校、教育を担う教員が信用されていないということである。具体的に教員の質を問題にする意見もあった。ある学校の、ある時、ある場面での指導を子ども自身が、またその養育者（保護者）がどのように受け止めたか、それがその後の学校や教員、広くは教育に対する構えに大きな影響を持つのである。教育に関わる者、広く人と関わる者として十分心したい指摘である。いじめに言及した意見は特に重い。

また、ゆとり教育を批判的に受け止めている記述も見られた。キャリア教育もそうした流れの中で行われているという認識が背景にあることにも注意が必要であろう。